

第八十九日目

師 範：連合国とくにアメリカは、日本を自由主義国側、西側につなぎとめておかねばならないと考えました。東西対立が激しさを増す時に、日本を立ち直らせて東に対抗できる勢力にしたかったのです。しかも急いで。そこで講和会議をサンフランシスコで開くことにして、日本が戦った連合国に参加を呼びかけました。この会議に招かれなかった国、反対した国がありましたが、多くの国と戦争状態を終える条約を結びました。これで連合国軍の占領が終わりました。



しかし、沖縄は日本から分離されてアメリカの支配のもとに置かれることになりました。沖縄の人々はこのサンフランシスコ条約が発効した4月28日を忘れません。戦争で損害をあたえた国に対する賠償のしかたも条約にふくまれていました。

1951年 サンフランシスコ講和会議が開かれ、

サンフランシスコ平和条約を結ぶ。

日米安全保障条約を結ぶ。

この年を覚えましょう。

ペン太：では



「西側に行く合意のサ条約」

「いく」は19, 「ごうい」は51です。

師 範：短くて内容もあるいい作品です。
よくできました。

コン太：朝鮮戦争の翌年ですね。

